

ちよだ 区議会 だより



No. 256

令和4年1月24日
編集：区議会だより編集委員会
発行：千代田区議会
〒102 - 8688 千代田区九段南 1-2-1
☎ 03-5211-4297（直通）
ファクシミリ 03-3288-5920

第4回 定例区議会
第2回 臨時区議会



新年のご挨拶 千代田区議会議員 桜井ただし



明けましておめでとうございます。

令和四年の新春を迎え、千代田区議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

区民の皆様には、日頃より区政に対し深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、コロナ禍の中で無観客ではありましたが、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催されました。日本選手団の活躍で過去最多のメダルがもたらされたことをはじめ、多くの夢と感動が私たちにも与えられました。

その一方で、一昨年から世界規模で「新型コロナウイルス感染症」が発生しております。人類の日々の生活を根底から覆す未曾有の災難となり、区民の皆様にも外出自粛やこれに伴う経済活動の停滞など、日々の生活に甚大な影響を及ぼされた年でもありました。

区政においては、危機管理対策をはじめ、次世代育成支援や保健福祉施策の充実、環境対策の推進を契機とした施策の推進など多くの課題がございます。

区議会といたしましては、「誰もが安全に安心して暮らし続けられるまち千代田」の実現のため、これらの区政課題解決に向け、執行機関と連携し、全力を尽くしてまいりますので、相変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

本年が、平穏無事で、皆様にとって幸せに満ち溢れた良い一年となりますことを、心からお祈り申し上げます。



千代田区議会議員

トップニュース

Top News

■令和3年第4回定例会

令和3年度千代田区一般会計補正予算第5号、第6号を可決

■第5号は、債務負担行為の補正として、「高齢者総合サポートセンター敷地の整備」に係る令和4年度の債務負担限度額を「1,305万7千円」から「1,942万6千円」に変更するものです。

■第6号は、補正前の額「661億842万1千円」に、「2億6,997万7千円」の予算額を追加するものです。内容は、年内に5万円を現金給付する「子育て世帯への臨時特別給付金」に要する経費の追加です。（詳細は6～7ページをご覧ください。）

委員会提出議案「固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書」ほか1件を可決

（詳細は8ページをご覧ください。）

■令和3年第2回臨時会

令和3年度千代田区一般会計補正予算第7号を可決

■第7号は、補正前の額「663億7,839万8千円」に、「4億5,044万2千円」の予算額を追加するものです。内容は、追加の5万円を現金給付する「子育て世帯への臨時特別給付金」及び「新型コロナウイルスワクチン接種対策」に要する経費の追加です。

■「子育て世帯への臨時特別給付金」の追加の現金給付を求める要望書を提出

（詳細は10ページをご覧ください。）

主な内容

- 代表・一般質問 …………… 2～ 5面
- 定例区議会活動報告 …… 6～ 7面
- 可決した意見書等 …… 8～ 9面
- 第2回臨時会 …………… 10面
- 令和3年の議会活動から …… 11面
- 議案の審議結果等 …………… 12面

提案された議案等

～令和3年第4回定例会～

◆区長提出議案

- ・予算 …… 2件
- ・条例 …… 6件
- ・契約 …… 7件

・規約 …… 1件

・報告 …… 1件

◆委員会提出議案

- ・意見書 …… 2件

～令和3年第2回臨時会～

◆区長提出議案

- ・予算 …… 1件
- ・報告 …… 3件

令和3年第4回定例区議会

代表質問 (要旨)

議員紹介はこちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

千代田区議会 自由民主党

小林 たかや

新型コロナ対策について

問 ①これまでの仕組みが第6波で機能することが重要となるが、課題は②3回目のワクチン接種の準備状況等は。

答 ①自宅療養者との連絡体制整備が課題。それを踏まえ、構築した対策が効果的に機能するよう医師会等と情報共有を行っている②対象者に順次接種券を発送し、2月中旬以降に集団接種を開始する予定。

出張所のあり方について

問 出張所が地域活動を支援するため①アナログとデジタルが融合する新しい役割を担うべき②地域の魅力や個性を発揮する拠点とすることを提案する。

答 ①デジタル化に対応した環境整備を行うとともに、対面による対応も行う②地域に最も身近な立ち位置を活かし、地域情報を集め、区の各部署とのハブとなり、地域の人と人等をつなぐことで地域コミュニティを支援する。



万世橋出張所

子育て施策について

問 ①子育て・教育施策のビジョンを明快に示すべき②ICT教育をどのように推進していくのか。

答 ①個性を尊重し可能性を引き出す保育・教育を進めるため議論を深めていき、区議会に示す②授業改善等の取り組みをさらに充実させ、児童・生徒が機器を有効活用できるよう推進する。

日本共産党区議団

木村 正明

新型コロナ対策の3つの強化

問 ①必要な医療をすべての患者に提供するための体制強化を②保健所と清掃事務所の人員体制強化を③国保料の子どもの均等割を区独自に負担軽減すべき。

答 ①医師会や協力病院と連携し区独自の策で第6波に備える②従来の応援体制の継続に加え、派遣終了者を配置する等体制確保に努める③国保制度における保険者として、法に抵触するおそれがあり、子どもの一律減額は困難。

公の施設の気候危機対策を

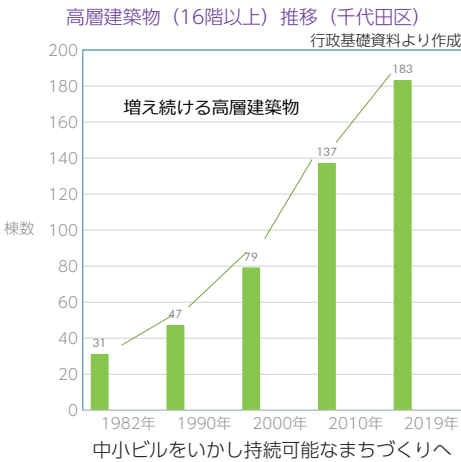
問 区は「気候非常事態宣言」を表明したが①太陽光発電システム未設置施設への対応を考えているのか②再生エネルギーを購入していない指定管理者への対応は。

答 ①今後施設の改修等に合わせて設置する②指定管理者への働きかけ等、関係部署と協議し検討していく。

持続可能なまちづくりへ

問 急増する老朽化した中小ビルを良好な形で残していくことを今後のまちづくりの方向性の一つと位置付けては。

答 ちよだプラットフォームスクウェアにおいて民間不動産活用型リノベーション等に取り組んでおり、情報発信や発展に向けて連携や支援を図っていく。



公明党議員団

大串 ひろやす

人間中心のSociety5.0を目指して

問 Society5.0という概念が国から提唱された。ビッグデータやAIが適正に利用された人間中心の社会である。AI社会原則には、理念として①人間の尊厳の尊重②誰もが幸せを追求できる社会③持続性ある社会の3点を、またAIの利用についての原則として、人権の保護やプライバシーの確保などが示された。そこで、このAI社会原則を踏まえ、区としてSociety5.0を目指して構想を策定してはどうか。

答 区としてAIやIoTなど技術を取り入れ区民生活の質の向上を図ることはまちづくりの基本となるテーマである。Society5.0スマート社会の実現に向けて様々な課題を解決していく。構想等の策定はDXを推進していく中、庁内で議論し検討する。



街路樹の育成マニュアル作成を

問 都はこの4月「街路樹診断等マニュアル」の大幅な改定を行った。これまでの不健全木の発見から街路樹の健全な育成へと目的を変更し、根の保護に関するガイドラインなどが追加された。そこで、都のマニュアルを踏まえ区としての「街路樹健全育成マニュアル」の作成を提案する。所見は。

答 街路樹の育成の観点の重要性を認識し、都のマニュアルを参考として、区の地域特性に即しながら「街路樹健全育成マニュアル」の策定に取り組む。

令和3年第4回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

池田 ともり (自民)



食品ロス削減について

問 食品ロス削減推進法が施行されて2年経つが、環境モデル都市千代田区として①フードドライブの試行など取り組みの進捗状況は②家庭でごみを出さないことが食品ロス削減となる。家庭で取り組める子どもへの環境教育を推進しては③区民や事業者へ区の食品ロス削減に取り組む姿を明確にするため、千代田区食品ロス削減推進計画の策定を求める。

答 ①清掃事務所で試行を重ねている。今後、定期的な事業として効果的に実施できるよう取り組んでいく②食品ロス削減が、解決すべき課題であるSDG sを総合的な学習等で取り扱い、児童・生徒に必要な資質・能力を育成すべく環境教育に引き続き取り組む③一般廃棄物処理基本計画を見直す中で策定に向けた検討を進める。

牛尾 こうじろう (共産)



学校給食の無償化を求める

問 義務教育の費用負担のうち最も大きいものが学校給食費である。学校給食は義務教育において重要な教育活動であり、憲法の規定「義務教育は無償」に則り、無償とすべきでは。

答 学校給食法では、給食の運営経費以外は保護者の負担と定めており、無償化は考えていない。学校給食費に限らず子育て世帯を広くサポートするため、区独自の次世代育成手当がある。

高校生の不登校対策について

問 区が高校生の不登校対策を行うには、通学している高校との連携がしにくい等の問題があり、NPOが取り組む状況しかない。こうしたNPOとの連携や協力は検討できないか。

答 相談者の意向等を尊重しながらNPO団体の特徴等も踏まえ調査・研究する。

西岡 めぐみ (自民)



保育園と幼稚園の防犯・安全対策

問 園現場や時代に即した防犯マニュアルの再構築が必要。警察や地域との連携、警備、防犯、安全対策を問う。

答 防犯対策を見直す。各園の意見も取り入れ、防犯カメラ台数等も調整する。警察や地域の連携も一層深める。

学校・園の食育と給食の充実化

問 東京23区内で本区のみ給食に約20年間、発育期に必要な栄養源の牛肉が未使用。アレルギー等配慮し、多様な食材で夕食等も給食内容を充実させ、希望制で需要増の朝食も提供しては。

答 使用自粛解除判断を逸し、反省点と認識。各園での調査等も行う。



資料提供：一般財団法人東京都人材支援事業団管理部総務課



資料提供：千代田区

飯島 和子 (共産)



骨密度測定を検診に加えること

問 骨粗しょう症は骨折リスクを高め、要介護につながる恐れもあるが、骨密度測定会を継続的に受ける40歳から74歳の区内女性はわずか0.3%。女性の検診に骨密度測定を加えては。

答 16歳以上の方を対象に骨密度測定会を実施している。女性の検診へ骨密度測定を加えることについては、効果的な対策となるよう研究していく。

暫定的でなく本格的な遊び場を

問 検討会報告で示された「本格的な遊び場の整備」を展望し、当面は再開発地域等の暫定利用で対処してきた。10年が経過しようとしても、将来の展望は全く示されない。区の見解は。

答 子どもの外遊びや自主性に対する周囲の理解を求めつつ、限られた資源の中で遊び場の確保を図れるよう、関係所管部とも連携し取り組んでいく。

米田 かずや (公明)



気象庁による地域気象防災支援

問 気象庁は防災気象情報が住民の防災行動に結びつくよう自治体等と連携を図っている。頻発する自然災害から区民を守るため気象台と連携しては。

答 東京気象台と台風発生時の進路や降雨について相談する等、連携しており、引き続き区の防災力向上に努める。

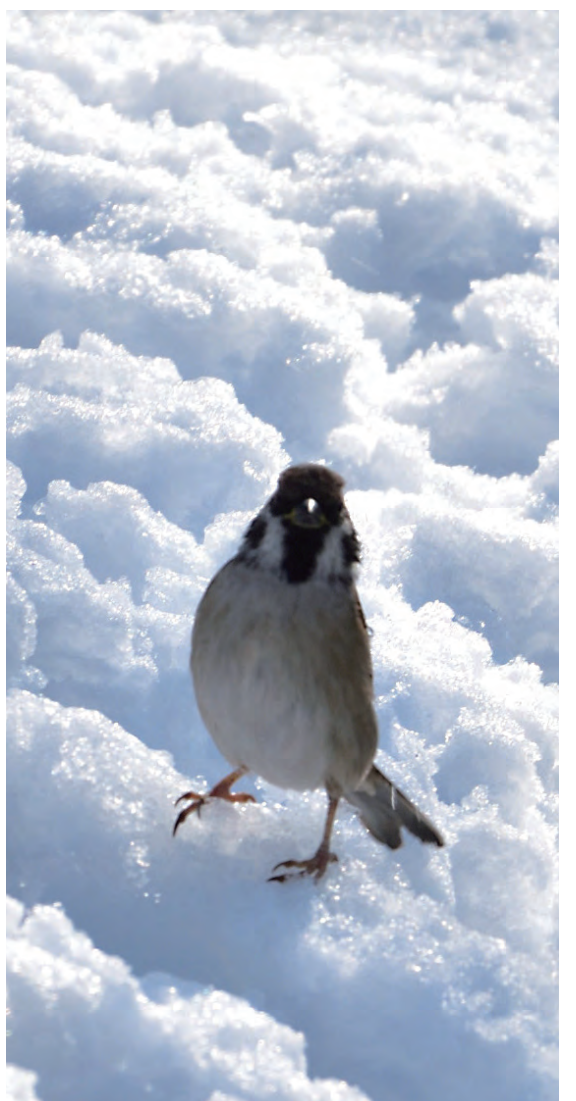
うつ病・自殺予防対策について

問 コロナ禍でうつ病や自殺者が増えている。自殺に繋がりやすいうつ病の早期発見を促すため、心の健康チェックができるようなシステムを導入しては。

答 システムを活用している自治体等から情報収集し、区の地域特性に適した自殺対策事業について検討する。



健康状態やストレス度が水槽の中で泳ぐ金魚などの絵になって表示されるメンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」



令和3年第4回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

林 則行

(自民)



マンション共用部改修費用助成

問 区民の約9割がマンション居住である実態を踏まえ、改修工事費を幅広く助成する制度を創設すべき。

答 老朽化が進んだマンションへの支援は公益性があるものの、制度設計等の課題もあるが、検討を深めていく。



一般財団法人
中央区都市整備公社 HP
「分譲マンション共用部分
改修費用助成要綱」

助成限度額
工事費用
10年間で
1000万円

コロナ禍の高齢者福祉整備

問 神田錦町三丁目施設の整備について、区が資金調達を負担し、設計、建設、運営等を民間に委託するDBO方式を採用した。利用者目線での利点は。

答 DBO方式で設計施工を行う事業者が維持管理を担うことで、きめ細やかで利用者に優しい対応が可能になる。

小枝 すみ子

(声)



ゼロカーボンをどう実現するか

問 「気候非常事態宣言」を受け、区施設の再エネ化をはじめ菊恋村等におけるソーラーシェアリングや子どもたちの環境教育推進等、区長の本気度を問う。

答 菊恋村等と再生可能エネルギーの取り組みを含めた協定を協議しており、協定更新を機に環境学習の充実を図る。

樹冠拡大に本腰を

問 街路樹の樹冠は気候危機に対しクール効果が明らかだが、樹冠拡大の目標値は現状とほぼ変わらず消極的では。

答 道路標識の視認性等、安全面に配慮して樹冠を管理する必要があり、今後も樹木も含めた緑の創出に取り組む。



気候危機にクール効果が明らかな、
街路樹の「樹冠拡大」に本腰を！

山田 丈夫

(自民)



電動キックボードの現状と課題

問 電動キックボードが普及する一方、都内では交通事故が相次いでいる。区内で行われた公道走行による実証実験の成果や課題を踏まえ、今後の区の問題意識と取組姿勢を問う。

答 新たな交通手段としての可能性は認識しているが、安全性に課題があり、推奨する状況にはない。警察と協力し正しい利用方法の理解促進を図る。

客引き行為等の防止対策と進捗

問 ①チームAKIBA安全・安心プロジェクトの取組状況と今後の方向性は②客引き防止条例に罰則を盛り込む改正をする考えは。

答 ①パトロール態勢の強化、研修会等による事業者の意識改革を進め、自主ルールも策定された。区として取組みを全面的に支援していく②過料徴収を視野に入れた検討を進めている。

たかざわ 秀行

(自民)



地球温暖化対策について

問 使用電力をすべて再生可能エネルギーにする取組みを始めた自治体がある。区も温室効果ガス削減に努めるべく、先行自治体の施策を取り入れては。

答 区民等を対象とした再エネ切替え支援や区内での再エネ発電等、複数の施策に取り組みながら電力の再生可能エネルギー100%化を推進する。

減災対策の進捗状況

問 台風による風水害や直下地震等はいつ起こってもおかしくない。減災対策は喫緊の課題である。災害対策事業計画の目標達成度及び進捗状況は。

答 建物の耐震化率や安心・安全メール登録件数は目標値に達していないものの一定の改善が見られた。一方、ハザードマップを更新し各戸配付する等計画以上の取組みをした事業もある。引き続き、減災対策を着実に推進する。

長谷川 みえこ (紡ぐ会)



再開発等による区民への影響

問 再開発やマンション建設等により街並みが大きく変化することで、定住区民が減少し、地域コミュニティの崩壊加速につながるのでは。

答 マンション居住者が増加する中、お互いを支えあう住まい方を後押しし、淡路町再開発の実例を検証しながらまちづくりに取り組んでいく。

外神田一丁目南部地区再開発

問 ①超高層ビルによる風害や輻射熱の影響について、地域住民に十分な説明を行ってきたのか②防災船着場の役割と具体的な使い方は。

答 ①昨年説明会を実施し、風環境等について説明した。今後は各種法令に基づく住民への説明等を実施していく②災害時の陸上交通網の補完等が役割である。平時も周辺の拠点を結ぶ舟運事業への展開につながると考える。



令和3年第4回定例区議会

一般質問 (要旨)



議員紹介は
こちらから

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

小野 なりこ (都ファ)



発達障がい子どもたちへの支援

問 ①発達に特性のある子どもたちへの保育や教育現場での支援体制について、課題や進め方をどう考えているか
②地域で相談できる方の存在は、保護者の安心や周囲の理解促進など合理的配慮の提供の認知にもつながると考える。保育や教育現場との懸け橋を担える地域の相談員を配置してはどうか。

答 ①様々な支援をどのように連携・共有し活用していくかが課題。職員が特性に寄り添い、適切に対応できる取り組みを行う②専門機関への橋渡しも含め、円滑に機能する地域の相談窓口のあり方について検討していく。



内閣府「合理的配慮」を知っていますか? リーフレット

岩田 かずひと (立民)



再開発の闇と区の認識について

問 再開発でデベロッパーにリスクは無く、失敗した責任は地権者が負うような事例が区でも起きている。今後の再開発の方針や計画の進め方は。

答 再開発は、地域防災力の強靱化や地区課題を解決するための有効な手法の一つと認識している。引き続き様々な意見を丁寧に伺い取り組んでいく。

超高層のデメリットについて

問 日テレ通り等で容積率緩和の動きがあるが①教室不足の議論があるなか、更に子どもが増え教育環境に影響があるのでは②超高層ビル建設に伴いビル風が起こることや就業者の急増により最寄り駅の危険が増すのでは。

答 ①日本テレビ沿道について、プロジェクトが検討されているが決まった計画は示されていない②今後事業者に明らかにしていただく。

河合 良郎 (自民)



地域経済と商店街活性化の戦略

問 コロナ禍で日常生活が大きく変化するなか、地域経済や地域コミュニティに商店街の存在は欠かせないものとする。地域経済と商店街活性化に向けた戦略や見解は。

答 現状の取組みに加え、社会の変容を踏まえた産業や観光資源の創出等、新たな施策の展開が必要と考える。

STEAM教育の取組みと課題

問 未来を背負う子どもたちが人財として巣立つには学びを大きく変化させる必要があり、STEAM教育はそのきっかけになると考える。現状と課題は。

答 九段中等教育学校後期課程では本物に触れる体験活動を行い、小中学校では一人一台端末を活用した探究的な学習に取り組んでいる。校種間の連携等が課題であり、教員研修や授業改善によりSTEAM教育の充実を図る。

本会議の傍聴はインターネットで！

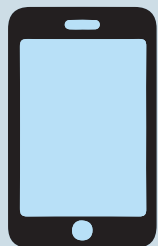
■ インターネット中継

千代田区議会 HP の「インターネット中継」で本会議の生中継及び録画視聴が可能です。右の2次元コードや区議会 HP からご覧ください。



■ 文字(字幕)配信

インターネット中継の音声聞こえづらい方向けに本会議を文字で生中継しています。右の2次元コードや区議会 HP からご覧ください。



■ ちよだ区議会だよりをスマホで！

各自治体の広報紙やニュースが閲覧できる無料アプリ「マチイロ」で「ちよだ区議会だより」を配信しています。スマートフォンやタブレット等で、いつでも手軽に「ちよだ区議会だより」をお読みいただけます！ぜひ、右の2次元コードからダウンロードしてください。



●ホームページアドレス

<https://gikai-chiyoda-tokyo.jp>

●メールアドレス

kugikai@city.chiyoda.lg.jp

●公式 Twitter

@Chiyoda_Kugikai

※区議会だよりは、新聞折込で配布しています。購読していない区内在住・区内事業者の方には郵送いたします。また、音声版(CD)、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局 ☎03-5211-4297 (直通) までご連絡ください。

区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、区議会の最新情報をお届けする「区議会公式 Twitter」も発信していますのでぜひご利用ください。

令和3年第4回定例区議会

定例区議会活動報告

常任委員会



常任委員会では、区長提出議案16件を審査しました。
議案の審査経過をご紹介します。なお、審議結果は12ページをご覧ください。

企画総務委員会

議案12件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例」は、東京都市計画内幸町一丁目北地区地区計画の決定に伴い、当該地区計画区域内における建築物の制限について定めるほか、規定を整備するものです。公布の日から施行します。

〈審査経過〉

質疑の中で、区は、地権者との勉強会を通じまちづくりの方向性を示したガイドラインを策定し、それは鹿鳴館等があった当該地区の文化・歴史も踏まえたものであること。施設計画による帰宅困難者対策では、就業者を除き来街者1万人を想定した一時滞在場所等の確保に努めていること。環境アセスメントは、都基準に従い調査の手続きが行われていること。容積率割り増しは、再開発等促進区を定める地区計画及び特定街区により行われていること。大丸有地区のスマートシティ構想とも連携していくよう調整を考えていること。整備期間が長期となるため、今後の技術開発も視野に入れながらCO₂排出削減を目指していること。日比谷公園、日比谷図書文化館、内幸町ホールも含め、地区の連携や回遊性を高めていく必要があるため、公園と地区を結ぶ人道橋を2本設置すること。地区の地盤や浸水への対策、建築物による日影、風環境への影響も考慮していること等が明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

環境への負担増大、脆弱な地盤、一極集中の加速等が明らか。持続可能なまちづくりではないため、反対する。(木村)

日比谷地区にふさわしくない計画であり、まちづくり総合調整を行う区の立場として、千代田区議会議員として、子どもたちに対し責任が取れないと思うため、反対する。(小枝)

【賛成の意見】

本地区計画は、区のガイドラインに基づいた計画である。大規模開発であるが、環境に配慮し、地区の回遊性が高まり、区民の活動の場も広がると考え、賛成する。(大坂)

街区の整備にあたって、人間の尊厳の尊重・誰もが幸せを追求できる社会・持続性ある社会という、Society5.0の理念の実現を目指すことを求め、賛成する。(大串)

その他「(仮称)四番町公共施設新築工事請負契約の一部変更について」等の11議案を審査しました。

地域文教委員会

議案2件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「令和3年度一般会計補正予算第6号」は、補正前の額661億842万1千円に、2億6,997万7千円の予算額を追加し、補正後の一般会計予算額を663億7,839万8千円とするもので、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、その影響により苦しんでいる子育て世帯を支援する観点から、児童手当を受給、または生計を維持する程度が高い方の所得が受給に相当する高校生までの子どもがいる世帯に対し、現金5万円の臨時特別の給付金を年内に支給するための経費について追加の予算計上を行うものです。

予算項目が子育てに関することから、地域文教委員会で詳細な調査を行いました。

〈審査経過〉

対象者は平成15年4月2日から令和4年3月31日に生まれた子どもを養育する方で、児童手当の本則給付を受給している方、あるいは相当する所得の方が対象であること。歳入は国庫補助金が充当される予定であること。年内に給付するための事務処理に早く着手できるように、国会審議に先んじて補正予算の手続きを進めていること。この臨時特別給付金により、コロナ禍で困難を極めている中、一部でも有効に使ってもらえることを期待していること等が明らかになりました。

〈討論〉

【賛成の意見】

子育て世代はコロナ禍で大きな影響を受けており、特別給付が子育て世代を支援するものになりうると考える。一方で、所得制限による不公平感や、高齢者、非正規労働者、事業者への支援も課題である。国と連携し、区独自にコロナの影響を受けた区民への更なる支援策を求め、賛成する。(牛尾)

その他「幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」の議案審査と、子ども発達センター事業運営事業者の選定結果について、令和4年度入学中学校の学校選択結果について、「チームAKIBA安全・安心プロジェクト」の取組状況について等の報告がありました。



常任委員会



保健福祉委員会

議案2件の審査経過は以下のとおりです。

「令和3年度一般会計補正予算第5号」は、債務負担行為の補正として、「高齢者総合サポートセンター敷地の整備」に係る令和4年度の債務負担限度額を1,305万7千円から1,942万6千円に変更するものです。

予算項目が高齢者福祉に関することから、保健福祉委員会で詳細な調査を行いました。

〈審査経過〉

九段会館とかがやきプラザの境界地を一体化させた遊歩道整備を進めたところ、境界地の地中にある土留め用の擁壁撤去が必要となったが、土留め上部を撤去するのみなので安全性に問題はないことが明らかになりました。

「千代田区公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例」は、レジオネラ症対策として公衆浴場の衛生措置基準等を改め、混浴制限に係る対象年齢を10歳以上から7歳以上へ引き下げるとともに、一定の面積を有する公衆浴場において衣類を着用した上で利用する場合は混浴できることとするほか、規定を整備するもので、令和4年1月1日から施行します。

〈審査経過〉

①混浴の制限付き規制緩和については、脱衣室は対象とされないことを規則で定めること。

②混浴年齢を引き下げることについては、浴場内に小さい子どもにもわかりやすい入浴方法の案内表示がほしいこと。子どもの状況によっては、7歳以上であっても親との入浴を認めてほしいこと、またそのことを規則やポスターに明記してほしいこと。親と一緒に浴場に来ても親と別れて入浴するような場合など、小さい子どもが一人で入浴することが難しそうなときには、浴場側に見守りなど配慮してほしいこと等の要望があり、規則改正については検討していくこと、その他浴場側には区から働きかけていくこと等が明らかになりました。

その他、「ちよだ健康ポイント制度」実証事業の分析結果について、新型コロナウイルスワクチン追加接種（3回目接種）について、令和4年度千代田区食品衛生監視指導計画（素案）の意見募集について、個別避難計画の作成について（案）、いきいきプラザ一番町の指定管理者の指定手続きについて、後期高齢者医療保険料（算定案）について、新しい日常店の換気に関する連携協定について、報告がありました。

特別委員会



環境・まちづくり特別委員会

「六番町偶数番地地区地区計画」や「外神田一丁目南部地区再開発事業」の陳情審査が行われ、地区計画については、意見交換会開催方法を関係者と協議していること。また、再開発事業については、権利者の意向状況の集計方法や、しゃれた街並みづくり推進条例の適用に関する説明経過等を確認しました。

その他、日本テレビ通り沿道まちづくり協議会の報告がありました。

公共施設調査・整備特別委員会

当委員会で調査研究する各施設のうち、軽井沢少年自然の家については3回目の検討協議会を開催し、活用方針案や施設で行うプログラム案を議論したこと。旧箱根千代田荘の調査検討については旅行・宿泊需要の先行きも見据え、更に深い検討を続けていくこと。新スポーツセンターについては建設候補地の説明がありました。また、各部の土地・建物等の需要状況について報告がありました。

災害対策・危機管理特別委員会

個別避難計画の作成について（案）の報告がありました。

質疑の中で、作成後の計画は3年ごとに更新予定であるが、心身等の状況変化に応じて随時に更新すること。ご本人の同意を得られた場合は、個別避難計画の情報を町会、民生委員、社会福祉協議会、警察、消防に提供し、共助、公助に役立てること等が明らかになりました。

その他、避難所の概況について、より詳細な報告がありました。

議会のあり方調査検討特別委員会

まず、本会議での質問時のスクリーン使用に関するルールについてあらためて確認するとともに、課題点については引き続き検討していくこととしました。

次に、今後の具体的な委員会調査事項については、提案した委員からの趣旨説明を受けて委員会としての共通認識を持ったうえで、委員から出された意見を踏まえて次回以降の委員会で取り上げていくこととしました。





可決した意見書

固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

我が国は昨年から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、普段の生活はもとより、学校教育、事業経営等に深刻な影響を受けています。緊急事態宣言や自粛要請によって経済活動が制限され、個人消費は冷え込み、緊急事態宣言等の解除後にあっても再度の感染拡大が懸念されるため、先行きの見通せない状況が続いています。

地域経済の担い手である区内の中小企業や小規模事業者の業況は、雇用不安の拡大、金融事情の悪化、後継者不足等により継続的な事業の展開が不透明であるなど、依然として厳しい状況にあります。

また、都心部ではテレワーク等の働き方の変化に伴いオフィス需要の低迷が続き、収益が見込みにくくなっています。

このような状況であっても、千代田区における固定資産の評価額は非常に高い水準が続き、固定資産税の負担が区民の事業継続の大きな障害になっています。

ほかの地域に比べて重い税負担が続く中でも、安心して生活し、働き、次代に未来を託し住み続けたいと願う区民の負担軽減を求める声には切実なものがあります。そのため、固定資産税等の大幅減税が求められています。

東京都では、昭和63年度以降、独自に小規模住宅用地に係る都市計画税の2分の1軽減措置を、平成14年度からは小規模非住宅用地に係る固定資産税・都市計画税の2割減免措置を、また平成17年度より負担水準が65%を超える商業地等に対する固定資産税・都市計画税の軽減措置など、地方税法において一定の範囲で地方自治体に認められる裁量を最大限活用する等、独自の様々な特例措置を講じられてきたところです。

千代田区は、長年にわたり、区民、町会、区内事業者の皆さんと一体となって、固定資産税の大幅減税を要望してまいりました。しかしながら、依然として大都市圏である特別区は地価水準が高く、住宅コストだけではなく、税負担も大きくなっています。こうしたことから、住宅用地の特例率の縮小及び商業地等の据え置きゾーン下限の引き上げや特例廃止が行われた場合、区民及び中小企業・小規模事業者に与える経済的、心理的影響は計り知れないものがあります。

よって、千代田区議会は東京都に対し、納税者が納得できる税額となるよう、国に対して固定資産税の大幅減税措置を働きかけるとともに、下記の事項について強く求めるものです。

記

1. 小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置を、令和4年度以後も継続すること
2. 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置を、令和4年度以後も継続すること
3. 商業地等における固定資産税及び都市計画税について負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置を、令和4年度以後も継続すること

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

(提出先) 東京都知事

公共喫煙所整備のための全国的な制度についての意見書

千代田区では、全国に先駆け、喫煙マナーの幅広い普及・啓発を行うため、様々な取り組みを行ってきました。

また、近年の健康増進法改正の影響などもあり、飲食店やオフィスビル内でも禁煙化が進み、喫煙できる場所がないことが、公園や路上などにおける違法な喫煙につながっているという課題も顕在化しています。

これまで千代田区では、喫煙者と非喫煙者の共生を目指し、身近な地域でバランスよく喫煙場所を整備していくこととして、地方たばこ税収なども活用し、取り組みを進めてきました。

喫煙者と非喫煙者の共生のためには、周辺環境にも十分に配慮した分煙型喫煙所を、多くの関係者の理解と協力を得て、慎重な配慮のもとに整備していくことが不可欠です。

喫煙に関わる問題は、健康問題の他にも、たばこ事業者や中小零細なたばこ販売店、たばこ農家の生業に関わる問題など、様々な分野における経済活動や国民の暮らしに広く影響を及ぼすものであり、一自治体の問題にとどまらないものがあります。したがって、喫煙に関わる問題への対策は、全国にわたる多くの関係者の理解と協力があって、はじめて実効性が担保され、効果的なものとなるものと考えます。

そこで千代田区議会は、分煙型喫煙所の整備をはじめとする喫煙者と非喫煙者の共生をめざす取り組みに対し、可能な限りの支援を行っていただくよう要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

(提出先) 総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣



委員会で取り扱った請願・陳情（令和3年11月3日～12月24日）※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

請 願 ・ 陳 情 名 (受付順に掲載)	送付委員会 () は参考送付	審査状況 (令和3年12月24日時点)
外神田一丁目1、2、3番地市街地再開発事業の再検討を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会 (企画総務委員会から送付替え)	継続審査
千代田区外神田一丁目南部地区再開発事業に関する陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
沖縄戦犠牲者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使用しないよう求める陳情	企画総務委員会	審査終了
清掃事務所を区のものとして建設するよう求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
再開発共同化に係る合意形成のルールを条例として作ることを求めます	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発事業の早期推進を求める陳情	(環境・まちづくり特別委員会)	継続審査
千代田区外神田一丁目南部地区再開発事業に関する陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
千代田区における医療的ケア児に対する支援の拡充の陳情	地域文教委員会	継続審査
六番町偶数番地地区の地区計画に関する陳情書	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を辺野古新基地建設の埋め立て等に使用しないよう求める意見書を国へ提出することについて	企画総務委員会	審査終了
外神田一丁目南部地区再開発事業の慎重な調査・再検討を求める陳情	環境・まちづくり特別委員会	継続審査
沖縄戦で犠牲になられた方々の遺骨を埋め立てに絶対に使用しないことを求める陳情書	企画総務委員会	審査終了
固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情（2件）	地域文教委員会	審査終了
地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情書	地域文教委員会	審査終了

令和3年第4回定例会 会期日程〈会期:令和3年11月17日～12月9日の23日間〉

月／日	本会議・委員会関連等日程	月／日	本会議・委員会関連等日程
11/17	議会運営委員会	11/30	議会のあり方調査検討特別委員会
	本会議(会期の決定・区長招集あいさつ等)		公共施設調査・整備特別委員会
18	議会運営委員会	12/1	災害対策・危機管理特別委員会
24	議会運営委員会		環境まちづくり特別委員会
	本会議(代表質問・一般質問)	2	議会運営委員会(開会に至らず)
25	議会運営委員会	3	企画総務委員会
	本会議(一般質問・議案の付託・議決等)		地域文教委員会
	地域文教委員会	6	保健福祉委員会
	保健福祉委員会	8	議会運営委員会
26	地域文教委員会	9	議会運営委員会
	保健福祉委員会		本会議(議案の議決等)
29	企画総務委員会		

10月～11月の主な活動

月／日	日 程	月／日	日 程
10/25	議会運営委員会(開会に至らず)	11/ 5	保健福祉委員会
28	区民集会運営協議会	10	〈令和3年第4回定例会告示日〉
11/ 4	企画総務委員会		議会運営委員会
	地域文教委員会	16	議会運営委員会

令和3年 第2回臨時会

令和3年第2回臨時会を、12月24日に開催しました。今臨時会は、「令和3年度一般会計補正予算第7号」を審議する必要があるため開かれたものです。

「子育て世帯への臨時特別給付金」「新型コロナウイルスワクチン接種対策」 として4億5千万円の補正予算を全会一致で可決

■ 子育て世帯への臨時特別給付金 2億6,722万4千円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子どもたちを力強く支援し、その未来を拓く観点から、高校生までの子どもがいる世帯に対し臨時特別の給付金として追加で現金5万円を支給するための経費として予算額を追加。

■ 新型コロナウイルスワクチン接種対策 1億8,321万8千円

新型コロナウイルスワクチン接種を実施するための経費に不足が生じるため予算額を追加。

「子育て世帯への臨時特別給付金」の追加の現金給付を求める要望書を区へ提出

子育て世帯への支援のため、18歳までの子どもを養育する国民に「子育て世帯への臨時特別給付金」として、まずは年内に対象児童ひとり当たり5万円を現金給付することが決まりました。

国において追加の5万円をクーポン券で配付することとしておりましたが、自治体の判断により現金給付を認めるという可能性が示唆されました。

本区としては、現金給付を求める区民の声が多いこと、またクーポン券配付の際に生じる事務費や区職員の負担増大、迅速な支援を要することなどを勘案すると、追加部分も含めて現金給付にすべきであると考え、令和3年12月9日に、区議会全会派・全議員の総意をもって、区へ要望書を提出しました。



(左から) 坂田副区長／樋口区長／桜井議長／岩佐副議長／永田議員



令和3年12月24日 臨時会の様子



令和3年の議会活動から

請願・陳情

(1)請願受付・取扱件数						
受付件数	採 択	不採択	継続審査	審議未了	取り下げ	取り扱い 未定等
2	0	2	0	0	0	0

※令和元年に受理した1件を含む。

(2)陳情受付・取扱件数					
受付件数	委員会 に送付	委員会に 参考送付	審査にな じまない	取り下げ (送付前)	取り扱い 未定等
38	22	5	9	1	1

(3)送付陳情の審査内容等						
①委員会に送付						
合 計	趣旨に添った 取り扱いを すべき	趣旨に添い がたい	引き続き審 査していく	その他の取 り扱い	取り下げ (送付後)	取り扱い 未定等
23	4(3)	0	8	10	0	1
※令和2年から審査していたもの1件を含む。 ※（ ）は陳情書の趣旨に基づき、意見書又は要望書を提出した件数です。						
②委員会に参考送付						
合 計	趣旨に添った 取り扱いを すべき	趣旨に添い がたい	引き続き審 査していく	その他の取 り扱い	取り下げ (送付後)	取り扱い 未定等
5	0	0	1	4	0	0

本会議別議決件数

項 目	区長 提出議案	委員会 提出議案	議員 提出議案	請願	報告
定例会					
第1回定例区議会	21	0	1	1	1
第1回臨時区議会	2	0	4	0	0
第2回定例区議会	13	0	3	0	1
第3回定例区議会	14	0	2	1	4
第4回定例区議会	16	2	0	0	1
第2回臨時区議会	1	0	0	0	3
合 計	67	2	10	2	10

全国からの視察

●子どもの遊び場事業について 1件（オンラインで実施）

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、
令和2年4月1日～令和3年11月10日まで受入れ中止

千代田区議会情報公開制度実施状況

(1) 請求種類別請求件数					
※公文書開示請求は、今まで公開されていない文書を公開請求すること。 情報提供請求は、既に公開している文書や会議録・委員会の記録等を請求すること。					
	請求件数	請求内容			
		本会議関係	委員会関係	政務活動費 関係	その他
公文書開示請求	1	1	0	0	0
情報提供請求	1	0	1	0	0
計	2	1	1	0	0

(2) 個人、法人別請求件数（住所・所在地内訳）						
		住所又は所在地				
		千代田区内	都内 (千代田区内を除く)	都外	国外	合 計
公文書開示 請求	個人	0	1	0	0	1
	法人等団体	0	0	0	0	0
	計	0	1	0	0	1
情報提供 請求	個人	0	1	0	0	1
	法人等団体	0	0	0	0	0
	計	0	1	0	0	1

(3) 請求方法別請求者数内訳					
	来庁	郵送	ファクシミリ	電子メール	合 計
公文書開示請求	0	0	0	1	1
情報提供請求	1	0	0	0	1

(4) 開示等の処理状況内訳					
	開示	一部開示	非開示	不存在	合 計
公文書開示請求	0	1(0)	0	0	1(0)
情報提供請求	1(0)	0	0	0	1(0)

※（ ）内は自己情報の件数（内数）

(5)審査請求件数	
審査請求	審査会に聴取
0	0

(6)審査会の聴取結果件数				
原処分妥当	一部妥当	妥当でない	審査中	計
0	0	0	0	0

区議会だより編集委員会の新しい取り組み

■ 編集委員会のオンライン化をスタート

区議会だよりの編集、発行等について協議するため、区議会だより編集委員会を設置しています。

令和3年11月2日に開催された委員会より、**区役所の委員会室と各議員の自宅や事務所をWeb会議ツール「Zoom」で繋いで「編集委員会のオンライン化」をスタートさせました。**

当日、委員会に出席した11人中、7人がZoomを通じて自宅など委員会室ではない場所から出席しました。

また、タブレット端末等を利用したペーパーレス化にも取り組んでいます。

課題も多くありますが、さらなる議会のICT化を推進していきます。

■ オンライン会議の様子



■ 委員の声

- ・全体的にスムーズに進んでおり、問題はなかった。
- ・移動なくて済むので時間を有効に使える。
- ・画面を通してなので、表情や気持ちが読み取りにくいような気がした。

議案の審議結果等（令和3年第4回定例会）															可…可決、○…賛成、×…反対																				
議 員 名 等 ※議員名の下段は、会派名略称		出 席 者 数	投 票 数	賛 成	反 対	議 決 結 果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議 決 月 日			
							小 野 なりこ 都ファ	岩 佐 りょう子 立憲	長 谷 川 みえこ 紡ぐ会	小 枝 すみ子 声	秋 谷 こうき 至誠会	岩 田 かずひと 立民	桜 井 ただし 自民	う が い 友義 自民	西 岡 めぐみ 自民	飯 島 和子 共産	牛 尾 こうろう 共産	木 村 正明 共産	大 坂 隆洋 自民	池 田 とものり 自民	山 田 丈夫 自民	欠 員	永 田 壮一 自民	た か ざ わ 秀行 自民	米 田 かずや 公明	大 串 ひるやす 公明	林 則行 自民	嶋 崎 秀彦 自民	河 合 良郎 自民	小 林 やすお 自民	小 林 たかや 自民				
議 案 名 等																																			
委 員 会 提出議案	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9		
	公共喫煙所整備のための全国的な制度についての意見書	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9	
区 長 提出議案	令和3年度千代田区一般会計補正予算第5号	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	長 は 採 決 に 加 わ り ま せ ん	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/25			
	千代田区手数料条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9	
	千代田区公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9	
	千代田区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例	24	23	17	6	可	○	○	×	×	○	×		○	○	×	×	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9	
	和泉公園周辺地区道路整備工事請負契約について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9	
	明大通りⅡ期歩道拡幅工事請負契約について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9
	(仮称)四番町公共施設新築工事請負契約の一部変更について	24	23	22	1	可	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9
	(仮称)四番町公共施設新築電気設備工事請負契約の一部変更について	24	23	22	1	可	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9
	(仮称)四番町公共施設新築空調設備工事請負契約の一部変更について	24	23	22	1	可	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9
	(仮称)四番町公共施設新築給排水衛生設備工事請負契約の一部変更について	24	23	22	1	可	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9
	区立お茶の水小学校・幼稚園改築工事請負契約の一部変更について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9
	特別区人事及び厚生事務組合規約の一部変更について	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9
	令和3年度千代田区一般会計補正予算第6号	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/25
	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9
	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9
	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/9
報 告	専決処分により訴訟上の和解をした件について																																11/25		

議案の審議結果等（令和3年第2回臨時会）																												可…可決、○…賛成、欠…欠席					
議 員 名 等 ※議員名の下段は、会派名略称		出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議決月日	
							小野なりこ 都ファ	岩佐りょう子 立憲	長谷川みえこ 紡ぐ会	小枝すみ子 声	秋谷こうき 至誠会	岩田かずひと 立民	桜井ただし 自民	うがい友義 自民	西岡めぐみ 自民	飯島和子 共産	牛尾こうろう 共産	木村正明 共産	大坂隆洋 自民	池田とものり 自民	山田丈夫 自民	欠員	永田壮一 自民	たかざわ秀行 自民	米田かずや 公明	大串ひろやす 公明	林則行 自民	嶋崎秀彦 自民	河合良郎 自民	小林やすお 自民	小林たかや 自民		
議 案 名 等																																	
区長提出議案	令和3年度一般会計千代田区補正予算第7号	23	22	22	0	可	○	○	○	○	○	○	※	○	○	欠	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	12/24
報 告	区立お茶の水小学校・幼稚園改築電気設備工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																										12/24						
	区立お茶の水小学校・幼稚園改築空調設備工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																										12/24						
	区立お茶の水小学校・幼稚園改築給排水衛生設備工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																										12/24						

※ 議長は採決に加わりません

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数24名 欠員1名

◇ 会派名 千代田区議会 自由民主党(自民)／日本共産党区議団(共産)／公明党議員団(公明)／千代田を紡ぐ会(紡ぐ会)／ちよだの声(声)／立憲民主党 新生ちよだ(立民)／立憲政策フォーラム(立憲)／都民ファーストの会 千代田区議会(都ファ)／千代田至誠会(至誠会)

■ 区議会だより編集委員会の構成



(後列左から)牛尾委員／池田委員／岩田委員／大坂委員／米田委員／うがい委員
(前列左から)長谷川委員／西岡委員／山田委員長／河合副委員長／小野委員

■ 令和4年第1回定例会の主な予定

2月10日（木）… 告示日

2月17日（木）… 招集日

2月24日（木）… 代表・一般質問

2月25日（金）… 一般質問

・ 変更となる場合もございます。

・ 詳細は区議会 HP をご覧ください。